



新潟の未来を担う スマート農業



新潟市では、農業の規模拡大や生産性向上のための機械導入・施設整備を支援しています。
今号では、ロボット技術などを活用した「スマート農業」について取り上げます。
☎農林政策課(☎025-226-1772)

目次 CONTENTS

- | 特集 |
- 1・2 新潟の未来を担うスマート農業
- 3 にいがたCITY NOW
 - 保育園など 入園申し込み受け付け開始
 - 大雨災害 被災世帯を支援
 - G7財務相会合開催決定
 - ニイガタニキロニュース
 - 八区魅力発見⑩～南区編～
- 4 連載 ニイガタで始める。みんなのSDGs
- 5 Noismを探る

他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています



導入が進むスマート農業

新潟市では、市町村別で全国一の収穫量を誇るコメを中心に、砂丘地帯のスイカやネギ、山麓の柿やイチジクなど、土地柄に合った園芸作物が栽培されています。一方で、農業従事者の高齢化や後継者不足が進み、農作業の省力化や新たな担い手の確保が重要な課題となっています。

その中で注目されているのが、ロボット技術や情報通信技術 (ICT) を活用して農業に取り組む「スマート農業」です。ドローンを使って肥料をまいたり、スマートフォンの遠隔操作で水位を管理したりする農家が市内でも徐々に増えています。スマート農業が普及することで、作業負担の軽減や農業に対するイメージアップ、作業情報の蓄積・共有が進み、新規就農者の確保や栽培技術の継承などが期待できます。新潟市の大きな魅力である農業を今後も維持・発展させていくためには、スマート農業による省力化・収益の向上は不可欠だと思います。

スマート農業の導入にはまとまった資金が必要ですが、近年は気象災害や肥料価格の高騰、ライフスタイルの変化に合わせた生産や販売の対応などで、農家に経済的な負担がかかる状況が続いています。ぜひ、地元産の農産物をたくさん食べて、新潟市の農家を応援してください。



JA新潟かがやき 営農企画課長
五十嵐 誠喜さん



農業大国新潟市

●市町村別農業産出額(年間)

順位	市町村名	産出額
1	都城市(宮崎県)	864.6億円
2	田原市(愛知県)	824.7億円
3	別海町(北海道)	662.6億円
...
5	新潟市	569.9億円

資料：農林水産省「令和2年 市町村別農業産出額(推計)」

●市町村別水稲収穫量(年間)

順位	市町村名	収穫量
1	新潟市	136,800t
2	大仙市(秋田県)	72,700t
3	鶴岡市(山形県)	67,600t

資料：農林水産省「作物統計調査」(令和3年産市町村別データ)



市の各種手続き、催し案内などは 土・日曜、祝日も 新潟市役所コールセンター
年中無休8:00~21:00
にいがた し むの し ゃ く し ゃ
こたえてコール **025-243-4894**
FAX 025-244-4894 Eメール 4894call@call.city.niigata.jp
新潟市の人口・世帯数 (8月末住民基本台帳人口。かつこ内は前月との比較) 人口/775,529人(-259)
男 373,483人(-119) 女 402,046人(-140) 世帯数/347,578(+95)

新潟県新型コロナ受診・相談センター
☎025-256-8275
(24時間対応。土・日曜、祝日も受け付け)